

平成21年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金申請概要

団体名等	事業名、事業内容及びスケジュール	補助対象経費及び内容等	地域活性化の波及性
<p>【団体名】 ふるさとの歳時記をつなぐ会</p> <p>【会員数】 7人</p>	<p>【事業名】 ふるさとの歳時記 ～両田兵吾の活躍した時代～</p> <p>【目的】 両田兵吾が活躍した時代の人々にスポットを当てる。 人の生活、地域の営みには喜び悲しみがあり、人々は自然に親しみ年中行事を行ってきた。それらは歳時記とも言える。 両田兵吾は蒲原、古志、三島地域を中心に五色軍談(チョンガリ)を語った。両田兵吾の語りを中心に人々が行ってきた年中行事の一部を再現する。</p> <p>【事業内容】 1月から12月の年中行事を中之島文化センターを会場にして上演する ・季節の唄、ふるさとをなつかしむ唄 ・神楽、手踊り ・民謡、民踊、盆おどり ・両田兵吾の五色軍談の語りの公開</p> <p>【事業実施までのスケジュール】 6月 両田兵吾のゆかりの人達訪問、遺品等の調査 7月 実行委員会の組織 8月 関係演目の調査、決定 8月 出演依頼交渉 8月 音響、照明等、ステージ関係確定 9月 一般へのPR用資料作成 10月 プログラム作成、配布 12月 イベント</p>	<p>【補助事業対象経費】 635,000円</p> <p>【内容】 ・調査費・・・30,000円 (両田兵吾ゆかりの人を訪問) ・広報費・・・170,000円 (看板、プログラム、ビデオ) ・役務費・・・20,000円 (郵便、通信) ・会場設営費・・・180,000円 (音響、照明、資材) ・需用費・・・160,000円 (両田兵吾人形、コピー用紙、消耗品) ・報償費・・・75,000円 (出演者謝礼)</p> <p>【補助金申込額】 500,000円</p> <p>(635,000円 × 4 / 5 = 508,000円)</p>	<p>・ふるさとの伝統と暖かさの拡充 ・昔の人の偉大さにおそれを感じ敬意を発揚 ・地域コミュニティの推進</p>

平成21年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金申請概要

団体名等	事業名、事業内容及びスケジュール	補助対象経費及び内容等	地域活性化の波及性
<p>【団体名】 長岡市中之島郷土史研究会</p> <p>【会員数】 34人</p>	<p>【事業名】 漢詩集「雲荘詩存」を現代語訳し出版する事業</p> <p>【目的】 一般の方々には読めない漢詩集を現代語訳に釈文編集し、地域の方々から漢詩に親しんでもらう。</p> <p>【事業内容】 入沢達吉博士が中国において出版した「雲荘詩存」を読解・釈文し、製本出版する。</p> <p>出版冊数：300冊(約220ページ)</p> <p>市立図書館、公民館、学校等公共機関に無償にて配布する。</p> <p>【事業実施までのスケジュール】 6月 原稿の再点検と校正 8月中 製本出版依頼 10月下旬 配布</p>	<p>【補助事業対象経費】 375,000円</p> <p>【内容】 ・出版製本費・・・300,000円 (1,000円×300冊) ・郵便料・・・30,000円 (切手代、封筒代) ・消耗品費・・・45,000円 (コピー用紙、原稿用紙等)</p> <p>【補助金申込額】 300,000円 (375,000円×4/5=300,000円)</p>	<p>入沢達吉先生は大正天皇の侍医頭であり、近代医学に貢献した人物である。 同時に漢詩について造詣の深い人物であった。 郷土の先賢の偉大さを、出版物を通じて理解し、漢詩等に親しみを持っていただけると信じる。</p>

平成21年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金申請団体一覧

	団 体 名	代 表 者 名	事 業 名	補助対象経費	補助金申請額
1	ふるさとの歳時記をつなぐ会	会長 小谷松 啓介	ふるさとの歳時記 ～両田兵吾の活躍した時代～	635,000	500,000円
2	長岡市中之島郷土史研究会	会長 小坂井 昭吾	漢詩集「雲莊詩存」を現代語訳し出版する事業	375,000	300,000円